

2023年1月1日～2024年2月29日の間に 当病院で腹部消化器疾患によるCT検査を受けられた方および ご家族の方へ

—「飲水が腹部CT血管造影における造影効果と血管形態に及ぼす影響に関する研究」 へのご協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 附属病院 中央放射線部 診療放射線技師 池長 弘幸

研究分担者

附属病院	中央放射線部	主任技師	佐内 弘恭
附属病院	中央放射線部	副主任技師	石川 哲也
附属病院	中央放射線部	副主任技師	森分 良
附属病院	中央放射線部	診療放射線技師	佐藤 舜

1. 研究の概要

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

当病院で2023年1月～2024年2月の間に撮影された画像データより、腹部ダイナミック造影CT検査データを使用して、飲水の有無による腹部臓器の造影効果と腹部血管の形態変化を明らかにし、撮影法並びに造影プロトコルの最適化策について検討を行うことを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年1月1日～2024年2月29日の間に当病院で腹部ダイナミック造影CT検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年7月31日

3) 研究方法

2023年1月1日～2024年2月29日の間に当院で撮影された腹部ダイナミック造影CT検査の解析を行い、腹部消化器疾患患者における飲水の有無による腹部臓器の造影効果や血管形態に及ぼす影響を明らかにします。その後、当院の腹部ダイナミック造影CT検査に求められる撮影法並びに造影プロトコルの最適化策について検討を行う。

4) 使用する情報の種類

患者情報：年齢、性別、身長、体重、飲水の有無等

スキャン情報：検査部位、撮影プロトコル名、X線照射条件、CTスキャン条件、画像再構成条件

線量情報：装置表示 CTDIvol、DLP

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、パスワード付きの専用USBメモリに記録し、川崎医科大学附属病院 中央放射線部 CT検査室の施錠可能なキャビネットに保存します。

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年6月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 中央放射線部 CT検査室

氏名：池長弘幸

電話：086-462-1111 内線 21543（平日：8時30分～17時00分）

Email:ikechou@med.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

共同研究機関 川崎医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線技術学科 講師 舛田 隆則

3. 資金と利益相反

本研究において資金の受け入れおよび使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といえます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会及び川崎医療福祉大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。